

令和5年度 大阪府立高槻北高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|-----------|
| 校名 | 府立高槻北高等学校 |
| 校長名 | 山脇 和美 |

| | |
|---|--|
| 開催日時 | 令和6年1月26日(金) 15:30~17:00 |
| 開催場所 | 府立高槻北高等学校 2F 会議室 |
| 出席者(委員) | 米津 俊司 会長、本村 康哲 委員、柏原 泰和 委員、 松岡 洋之 委員、栗原 綾 委員 |
| 出席者(学校) | 山脇 和美 (校長)、伊藤 倫隆 (教頭)、山地 謙一郎 (事務長) 上田 千歳・松本 庸子 (首席)、水口 翔太郎 (総合調整部長)、尾崎 浩祥 (記録) |
| 傍聴者 | なし |
| 協議資料 | ①令和5年度 第3回学校運営協議会次第 ②令和5年度 第2回学校運営協議会議事録 ③委員名簿ならびに本校出席者一覧 ④配席図 ⑤令和5年度 学校経営計画及び学校評価(A3:2枚) ⑥令和6年度 学校経営計画(案) (A3:2枚) ⑦令和5年度 第2回学校教育自己診断結果(A4冊子:生徒版、保護者版、教員版) |
| 備考 | |
| 議題等 (次第順) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言 (教頭) ・開会挨拶 (校長) ・本校の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度 学校経営計画の達成状況について (校長) ○令和6年度 学校経営計画(案)について (校長) ○令和5年度 第2回学校教育自己診断結果について (松本首席) ・質疑応答ならびに協議 ・閉会挨拶 (校長) ・閉会宣言 (教頭) | |

協議内容・承認事項等（意見の概要）

(校長)令和5年度学校経営計画の自己評価について説明

(校長)令和6年度学校経営計画(中期目標まで)について説明

- ・大きな変更点はないが、各目標の項目を整理し、それぞれの目標でめざすべきものを明確にした。
- ・「1. 学力・進路保障」については、昨年度まで「進学保障」としていたものを、進路の多様性に鑑み、「進路保障」に変更した。また、全校生徒を対象にした目標を(1)、教志コースに係る目標を(2)とし、昨年度までと順序を入れ替えた。また、教志コースの取組みの一つとして、国際交流を取り入れた。
- ・「2. 学校生活」については、生徒の主体性の涵養を(1)、生徒の規範意識の向上を(2)、安全・安心につながる取組みを(3)とし、整理した。
- ・「3. 学校運営」については、職員研修の充実、教職員の働き方改革の項目を加えた。
- ・「4. 広報」については、効果的な広報活動の実施を目標とし、また、「スクールミッション」「アドミッションポリシー」に加えて、「スクールポリシー」についても、周知を図る、とした。

(委員)表現も変更し、具体的な取組みがわかるように変更できている。

(委員)働き方改革については、単に労働時間を減らすだけでなく、負担に感じるものを具体的に探り、改善していく必要があるのではないか。

(学校)日々の負担を少しずつ軽減することで、ストレスを和らげていくことが大切だと考えている。例えば朝の「職員連絡会」の見直し等もそれに当たる。教職員全体で、みんなで協働していこう、という意識を醸成していきたい。

(委員)小・中学校も、情報共有に ICT を活用したり、会議時間の短縮や会議参加メンバーを厳選したりすることで、業務の効率化による時間短縮を図っている。

(委員)(ストレスの緩和という点からの意見)最近、協働することが苦手で、課題に直面したとき自分で抱え込み精神的にもしんどくなる等、周囲に助けを求めることができない教員もいる。また、(授業準備の観点から)教材を共有し、教科の財産とすることで、学校全体の授業のレベルが上がる等の成果が出た例もある。

(委員)課題を抱える生徒に対して、担任だけが担当するのではなく、いろいろな関りができるような体制を確立していくことが大事である。

(学校)(国際交流についての委員からの質問に答えて)国際交流については、教育旅行等で日本を訪問している各国の中高生と、教志コースを選択している生徒との交流を図ることから始めていきたい。

☆以上の協議を経て、令和5年度学校評価、令和6年度学校経営計画及び学校評価(中期的目標まで)について承認された。

(学校)令和5年度第2回学校教育自己診断結果について、生徒版・保護者版・教員版それぞれについて、主だった項目の経年の変化等について説明。

(委員)授業については、教科内で、生徒が興味・関心を持ち、理解を深めるための教材を、ある程度統一した内容で作ることが大切である。

(学校)今年度も目標としている、教員相互の授業見学を軸に、教材の共有等も視野に入れ、授業力をさらに向上させていきたい。

(委員)(家庭学習の時間が減少したという生徒版の回答を受けて)学習時間の減少の捉え方として、効率よく学習できるようになった、あるいは他の活動(部活動)に力を入れていると考えることもできる。ネガティブな捉え方をせずに、サンプルの取り方でも変化があるので、結論を急がずにポイントを絞って取り組んでいくとよい。

(委員)学校運営に際し、今、何を取り入れていくべきなのかを、管理職から教職員全体に伝え徹底していくことで、教職員が共通認識を持ち、協働性も深まり、学校が発展していくのだと思う。

☆以上の質疑応答があった。今回で任期満了となった米津会長に花束が贈呈されたのち、校長からの謝辞があり、教頭の閉会宣言がなされ、閉会した。

| 次回の会議日程 | |
|---------|--|
| 日時 | |
| 会場 | |